

6 第2時の学習指導案

本時の位置		第2時間目（全2時間）	
本時の学習目標		<p>ア 作品に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>イ 登場人物の行動などから思いを読み取ることができる。(読む能力)</p> <p>ウ 話し合いを通じて、登場人物の心情や行動について自分の考えを明確にしている。(読む能力)</p>	
事前の準備		<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容の確認のためのワークシート、 ・大型店（「アメリカ風ハードウェアストア」）と「小さな町の金物屋」の動画 ・動画再生のためのパソコン・プロジェクタ等 	
過程	学習内容	学習活動	指導上の留意点・観点別評価
導入 10分	□前時の内容の復習をする。	① ワークシートで前時の復習をする。	・登場人物「娘」「金物屋のおじさん」の心情を確認し、本時は母親である「私」の心情を想像することを意識させる。
展開 35分	□本時の課題を確認する。	① 本時の課題を確認する	・課題を板書し、常に意識できるようにする。
	□母親である「私」の心情を理解し、この後の行動を想像する。	<p>母親である「私」の娘に対する思いを読み取り、この後の「私」の行動を想像する。</p> <p>① 「私」がなぜ大型店（「アメリカ風ハードウェアストア」）ではなく、「小さな町の金物屋」を探したのか、理由を考え、発表する。</p> <p>② ほうきで空を飛ぶことができない娘から「お母さん、飛べないんだけど」と言われた「私」の返答を考える。</p>	<p>・本文を音読させて、内容を確認させる。</p> <p>・写真・動画を活用して大型店（「アメリカ風ハードウェアストア」）と「小さな町の金物屋」のイメージを確認させる。（ICTの活用）</p> <p>・写真や動画を見ることで「小さな町の金物屋」の方に「イマジナリーな世界」が感じられることに気づかせる。</p> <p>・「アメリカ風ハードウェアストア」ではなく「金物屋」に娘を連れて行くことで、「私」も「子どものイマジナリーな世界を広げ」たことに気づかせる。</p> <p>イ に対する評価規準と評価方法 [規準] 「私」の娘の思いを大切にし、「イマジナリーな世界を広げ」ようとしていることに気づいている。 [方法] 机間指導をし、ノートなど取り組み状況を確認する。 [状況Cの生徒への手立て] ・「大型店」と「金物屋」とのどちらが「空飛ぶほうきが売っていきそうか考えさせる。</p> <p>・「イマジナリーな世界を広げる」ための返答となるよう注意する。</p> <p>・ほうきを買った一週間後、娘が「私」に「飛べない」と言ってきた想定で考える。</p> <p>・想定される「私」の言葉。 「どうやって飛べるか、お母さんと図書館（古書店）で調べてみようか？」 「金物屋のおじさんが、間違えてお掃除の魔法をかけちゃったのかもね」など</p>

		<p>個人で考えた後、5人程度のグループで意見交流を行い、ロールプレイで発表する。</p>	<p>目標 ウ に対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕話し合いを通じて、自分の考えを明確にしている。</p> <p>〔方法〕机間指導をし、取り組み状況を確認する。</p> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <p>グループのメンバーの考えに対して賛否や付け加えなどをしながら自分の考えをまとめるように指示する。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>□本時のまとめと単元の振り返りをする。</p>	<p>それぞれのグループの発表を評価し、娘の思いを大切に「私」の思いについて確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの発表の中で一番「子どものイマジナリーな世界を広げ」ていたものを選んで投票する。 「イマジナリーな世界を広げ」ていることを規準にして選ぶことを意識させる。